

CENTENARY

2010. 3 . 1
第 46 号
兵庫県立加古川西高等学校



文武両道による人格の形成

第62回

卒業式

第62回卒業式が2月27日(土)に挙行されました。朝から生憎の雨模様かと思われたところ、式の始まる頃からしだいに晴天に向



かい、「晴れ男」を自称する校長の面目躍如といったところでした。式は肅々と進行し、卒業生代表の答辞では、あちら

こちらで目頭をおさえる姿が見られました。盛大な拍手に包まれるが、式場を後にする3年生の堂々とした晴れやかな姿も印象的で、思い出に残る素晴らしい卒業式となりました。

また、前日の授賞式では、「校花賞」が7名の生徒に贈られました。



「校花賞」は、運動部ではインターハイ、文化部では全国総文に出場するなど、顕著な活躍をした生徒の功績を讃えて贈られているものです。



第3学年の先生方
卒業式の朝、玄関前にて
3年間、お疲れさまでした

校花賞

【ボート部】

第57回全日本高等学校選手権大会(インターハイ)出場
藤原桜子・中池志帆美
梶原しおり・上月理紗

【美術部】
第33回全国高等学校総合文化祭出場
岸野照葉
文部科学大臣賞受賞
中野江梨子

【書道部】
第33回全国高等学校総合文化祭出場
花房玲香



「校花賞」授賞式

卒業記念植樹

おわる

前号でも紹介しました62回卒業記念植樹の「さるすべり」が、部室棟と体育館の間の庭に植樹されています。

この樹木は「百日紅」という名のとおり、7月〜9月の100日間、紅色(または白)の花を咲かせてくれます。



部室前に「百日紅」

夏の間、そんなに長期間にわたって花を咲かせる木は大変珍しく、場所がちよど部室前ということもあって、夏の部活で疲れた生徒達を大いに癒してくれることでしょう。
さて百周年には、どのような花を咲かしてくれるのでしょうか。楽しみにしたいものです。

ちょっと一言 ウェイトトレーニングで「もう、だめだ」と思った瞬間、次の運動が出来なくなってしまう。これを「心理的限界」という。他に「生理的限界」がある。生理的限界を超えると自身の筋肉の動きで骨折したり、命まで失うことがある。そのために心理的限界が先に働くことになる。では心理的限界は、どうやって決まっているのでしょうか？自分で限界づけているのです。変化や成長を求めるならば、限界を極め、限界をさらに深めてみよう。君の潜在能力は、無限大です。